（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	べりるらんど

公表日 2025年11月3日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援要等のスペースとの関係で適切であるか。	8		基準よりも広いスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準人員に加配職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		幅広い空間を確保しており車いす利用児も快適に過ごせるスペースを確保している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		室内は常に清潔な環境にしている。	強度行動障害児の特性に合った空間が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個室が必要な児童には適切に使用できるような環境になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		1	目標設定はしっかり行っている。	目標設定はしっかり取り組んでいるが、振り返りが出来ていないこともある為しっかり振り返りを行う必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者評価表以外にも意向や相談があれば迅速に対応を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		事業者評価以外にも定期的な会議にて意見交換の場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者評価は行っていないが今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			定期的な研修は行っているが、専門性向上のための研修の機会を増やしていく必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		定期的なモニタリング以外にも保護者と情報共有を行いそれに伴ったサービス計画を作成している。	細かいサービス計画が全職員に共有できていないことがある為しっかりとした周知を行う必要がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援会議にて支援に関わる職員が参加し細かい情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8			非常勤職員にも詳しい情報共有を行う必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している。	8		日々の詳細な様子を日誌等に記録している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」について適切な目標を設定している。	「移行支援」、「地域支援・地域連携」に関してより具体的に示すことが望ましい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		1	児童指導発達管理責任者が立案を立てるが女性に携わる指導員が積極的に提案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童の特性に合わせた個別活動と集団活動の組み合わせを取り入れた支援を行っている。	集団活動が苦手な児童に対しての療育支援を具体的に考える必要がある。
	20	支援開始前には職員間でめず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間でめず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			支援終了後の打ち合わせ時間を増やす必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		ソフトを導入し日誌、連絡帳等を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングは外にも保護者と情報との情報共有の場を提供している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を模倣組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		児童が自己選択出来るような声掛けや指導を心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所やサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		会議には児童発達管理責任者以外にも近くで支援をしている職員も参加をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		医療機関や学校等と連携を図りながら支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校との情報共有では情報共有専用のアプリ等を取り入れ適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	2	定期的に児童発達支援センターと連携を図り職員の研修の機会を確保している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	地域のイベントや公園活動にて地域の子供と活動する機会を確保している。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会の確保を検討中。
	33	（保護者向け）学習会や講演会に参加しているか。	6	2		自立支援会議が夕方の療育時間と重なっていしまうことあるため参加できていないが、機会があれば参加を検討している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎の際など保護者と会うときは子供の状況を伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		ペアレントトレーニングや家族等が参加で出来る研修の機会の提供を検討中。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの福祉の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8			
	39	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様から子育ての悩みや相談事がある時は迅速な対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2		父母同士やごきょうだいが参加できるイベントの企画が少ない為交流できるイベントを検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情の事例はないが、苦情があった場合には迅速に対応をする。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		活動内容を通信以外にもホームページに公表している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		事業所が主催のイベントには地域の人や利用者の家族等も招待をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が示されているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し封筒している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットがあった場合には迅速に情報を共有し再発防止の対応を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止の研修を確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	現在身体拘束は行っていない。	